

さかみち

のほ えがお ま
「さかみちを上ると、笑顔が待ってるよ」

白小だより

夏休み直前号

令和5年7月20日

どりよく 努力のつぼ



いよいよ明日から、みなさんが楽しみにしている夏休みが始まります。今年の夏休みは42日です。夏休みの目標や計画は立てていますか。長い夏休みをだらだらと過ごすのではなく、目標を決め、計画を立てて、目標が達成できるようにがんばりましょう。

そして、この夏休みに、「がんばり抜く力」をつけてもらいたいと思います。でも、「がんばり抜く力」をつけることは、簡単ではありません。難しいことです。

そこで、夏休みに「がんばり抜く力」をつけるために、「努力のつぼ」のお話をします。

みなさんが、なにかを始めようとか、今までできなかったことをがんばろうと思ったとき、だれもが、神様から「努力のつぼ」をもらうのだそうです。そのつぼにはいろいろな大きさがあります。小さなつぼもあれば、体育館くらいの大きさのとてつもなく大きなつぼもあります。

「5問の漢字テストで100点をとろう」とがんばるときは、きっと、小さいつぼでしょう。でも、「100問の漢字テストで100点をとる」とがんばるときは、大きなつぼでしょう。「サッカーの試合やダンスの大会で、香川県で優勝する、全国大会で優勝する」とがんばるときは、とてつもなく大きなつぼでしょう。

実は、神様からもらう「努力のつぼ」は、人によって大きさが違うのです。さか上がりができるようにがんばっている友だちは、1日でもできたのに、自分はまだできない……。こうなるのは、同じことをがんばっていても、神様からもらったつぼの大きさが、みんなそれぞれ違うからです。あきらめずに、つぼの中に努力を入れ続けると、少しずつたまって、いつか「努力」があふれるときがきます。その瞬間ができるようになるときです。

「努力のつぼ」の大きさは自分でもわかりません。がんばっている途中はどれくらいがんばればよいのか、知ることができないということです。「努力のつぼ」が努力でいっぱいになってあふれるときまで、あきらめないことです。「努力のつぼ」は、目で見ることにはできませんが、決して消えたりなくなったりしません。水がたまっていくように、みなさんの努力は、確実にたまっていきます。そしていつか必ず、あふれる瞬間がきます。

がんばっていることができるようになるまで、目標が達成できるようになるまで、あきらめずにがんばることが大切です。そうしていくうちに、とても大切な「あきらめない力」、「やり抜く力」がつきます。

保護者のみなさまへ

終業式で「努力のつぼ」の話をしました。この1学期でお子様たちは大きく成長しています。夏休みには自分で立てた目標に向けてやりきれるように、温かいお声かけをお願いします。できているときにはしっかりと褒めてください。お家の方から褒めてもらえたことが、がんばるエネルギーになります。